

ごあいさつ

安積高等学校長 久保田範夫

本日は、第37回福島県立安積高等学校合唱団定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

昨年度は、安積高校の定期演奏会に合わせて、安積高校がホスト校となって会津高校、磐城高校、そして福島高校合唱部と共に四校連合の演奏会を開催しました。また、安積高校創立130周年を記念して、現役合唱部員と本校OB・OG合わせて約100名の合唱団による迫力ある「130周年記念OB・OGとの合同ステージ」を作り上げました。

安積高校は、明治17(1884)年に創立され、今年で131周年を迎える県内で最も歴史のある高等学校ですから、長い伝統を誇る運動部や文化部がたくさんあります。その中でも安積高校合唱団は、昭和25年に設立され、以来65年の歴史と伝統を有し、定期演奏会としては、昭和54年に第1回が開催されてから今年で37回目を数えます。

安積高等学校合唱団の今年のテーマは「potpourri(ポプリ)」と聞いています。この言葉は、「接続曲(medley)、文集(anthology)」を意味しますが、また、「花香・香りの壺」という意味も持っています。まさに、豊かな響きと不思議な香りが満ちあふれ、「一人ひとりの個性が合わさり一つのステージを創る」という本校合唱団の思いが込められた言葉であると思います。

音楽や合唱との関わり方は人それぞれですが、人が生み出す音楽には、その場に集う全ての人のエネルギーの総和以上のものが宿るのではないのでしょうか。本日の会場には、文字通り魅惑のハーモニーが響くことでしょう。

最後になりますが、この演奏会の開催にあたり、多くの方々から温かい御援助や励ましを頂きましたことに感謝致します。今後とも、安積高等学校合唱団に対し、御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。